

総合的な学習の時間の第 1 の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

- 社会の発展に貢献し、よりよい未来を切り拓くリーダーの育成
○よりよい未来の創造に向かって能動的に挑戦し、心身ともにたくましく成長する生徒
○どんな状況にも柔軟に対応できる汎用能力をもつ生徒
○お互いの違いを認め、それを尊重し合意形成を図りながら他者と対話し、協働できる生徒
○デジタル機器の効果的な活用をとおして、社会課題を自ら設定し、解決に向けて行動できる生徒

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 確かな学力
グローバルな視点で、未知の内容を楽しみながら、能動的に学ぼうとする資質・能力の育成
(2) 豊かな人間性
個性やちがいを受容し、尊重する心の醸成
(3) たくましさ
変化に対して勇気をもって立ち向かうたくましい心身の育

総合的な学習の時間の学習評価

- (1) 自分を取り巻く社会や職業、人々に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にし、課題を見出している。
(2) 調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。
(3) 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。
(4) 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。

生徒の実態

- 素直な性格をもち、物事を的確に理解する力があり、受容性に富む生徒が多い。
○自己目標を明確にもち、向学心や向上心の高い生徒が多い。
○生徒の居住範囲が広く、様々な地域性を有している。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・学习上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮（個への支援と教育的ニーズへの対応）。
・生徒の発達の段階に応じた柔軟で、臨機応変な対応。
・面談やアンケートにより生徒理解に努め、子供たちの実態に即した指導。
・関係機関や外部専門家等との連携、また緊急時の支援体制の整備。

目指す生徒の姿

- よりよい未来の創造に向かって能動的に挑戦し、心身ともにたくましく成長する生徒
○教養があり、知性と感性をバランスよく備え、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる生徒
○お互いの違いを認め、それを尊重しながら他者と協働できる生徒
○科学的な観察力を持ち、身に付けた判断基準を根拠に行動で

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

【第1学年】

志をもとう ～探究って何 Social change～

- 探究課題①：「探究 BASIC」
○探究課題②：「探究ゼミ」
○探究課題③：「国際的探究」
→資質・能力：(1)課題発見、情報収集能力 (2)まとめ、発表能力
(3)課題共有、協働、解決能力 (4)英語発信力

【第2学年】

歩みだそう ～ゼロから価値を生み出す～

- 探究課題 4：「探究 ADVANCE」
○探究課題 5：「探究ゼミⅡ」
○探究課題 6：「国際的探究」
→資質・能力：(1)課題発見、情報収集能力 (2)表現力、発信力
(3)社会貢献への態度 (4)思考力、発想力

【第3学年】

世界に発信しよう ～Social change in English～

- 探究課題 7：「探究 PROGRESS」
→資質・能力：(1) 課題発見、情報活用能力 (2) 論理的思考力
(3) 社会貢献への態度 (4) 語学力、表現力

学習活動、指導方法等

【第1学年】

- ①身の回りの疑問から課題を見つけ、グループ活動においてブレインストーミングの手法などを学びながら、課題の解決を試みる。計画の立案や情報収集などをグループで協力、分担し、課題解決に向けて協働して行う。
②学術分野ごとのゼミに所属し、課題を見つけ、解決に向けてグループで探究するとともに、レポートの作成や発表方法を学ぶ。
③自分の考えや意見を英語を用いて即興で発表したり、探究の成果を英語で簡潔に発表したりする活動に取り組む。

【第2学年】

- ・地域の現状に目を向け、SDGs の視点を取り入れながら地域課題探究を行う。よりよい地域社会となるための課題解決に向けて、情報を収集したり、現地調査したりして、得られた結果を考察し、企画をまとめる。企画内容をプレゼンテーションソフトを使ってレポートを作成し、発表する。
・学術分野ごとのゼミに所属し、課題を見つけ、解決に向けて個人で探究するとともに、レポートや論文にまとめ、発表を行う。
・オンラインで海外の学校とつながり、自分の考えや意見を英語を用いて即興で発表したり、探究内容を英語でプレゼンしたりする活動に取り組む。

【第3学年】

- ・生徒個人で社会的課題や進路希望等をもとに探究テーマを設定し、1年をかけて探究を行う。書籍や新聞、インターネット等を活用して情報を収集し、仮説や見通しを立てて実験・観察・調査等を行い、分析・考察をしてまとめる。探究した内容をレポートや論文にまとめ、英語でプレゼンやセッションを行う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 企画委員会（管理職、校務部長、学年主任）及び各教科との連携、調整、情報交換
○ 少人数指導やチームティーチング等による個々に応じたきめ細やかな指導の実践、及びグループ活動や異年齢交流活動等による協働的な学びの実践
○ 企業、研究機関、県内附属中学や大学等との連携、協働による先進的な教育活動の展開
○ PTA や地域社会との連携、協働による開かれた学校づくりの推進